※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　（専）福祉科

教科	（専）福祉	科目	（学）介護福祉インターンシップ	単位数	１単位	年次	集中講座 （2・3年次）
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地域社会で生活されている人々の「ふだんのくらしのしあわせ」について考えていきます。
・夏季休暇を利用して、地域の特別養護老人ホームなどで集中的に介護実習を体験し、学んだ知識・技術を実際に活用し、実践できるための基礎的な力を身に付けましょう。
・卒業後、福祉・介護・医療・保育分野に進みたい人にとって必要とする、基礎的な介護に関する知識や技術を学ぶとともに「福祉の心」も育みましょう。

２　学習の到達目標

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、根拠に基づいた介護及び支援を実践するために必要な資質・能力を育成することをめざす。
（１）介護及び支援の実践について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
（２）介護及び支援の実践に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
（３）健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、介護及び支援の適切な実践に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	介護及び支援の実践について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	介護及び支援の実践に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、介護及び支援の適切な実践に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
夏季休暇(7月中旬から8月下旬)	実習前オリエンテーション	●介護過程の意義と役割 １、実習施設概要 ２、心構え・注意点 ３、実習記録のとり方	a:オリエンテーションを通して介護福祉インターンシップの趣旨、心構えを理解している。 b:実習施設・介護過程に関する情報を集め、整理・分析し、自分に必要な情報をまとめ表現している。 c:介護福祉インターンシップに参加する意義を考察し、自己の進路実現に向けて主体的に取り組む態度を身に付けていようとしている。	ワークシート 実習簿	ワークシート 実習簿	ワークシート 実習簿
夏季休暇(7月中旬から8月下旬)	施設実習(6時間×5日間)	●介護過程の実践的展開 ・将来の自立に向けた生活課題の解決及び目標の設定 ・サービス利用者の希望を尊重した介護計画の立案	a: 高齢者の介護及び支援の実践について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 b: 言語的コミュニケーションや非言語的コミュニケーションを用いて、利用者の自己表現を適切に受け止めるとともに、利用者の状況や心身の状態に応じたコミュニケーションの技法に基づいて、創造的に解決する力を身に付けている。 c: 高齢者の介護及び支援の適切な実践に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けようとしている。	ワークシート 実習簿 施設側の評価	ワークシート 実習簿 施設側の評価	実習観察 ワークシート 実習簿 施設側の評価
夏季休暇(7月中旬から8月下旬)	実習事後指導	●自立生活支援と介護 1、事後学習 2、実習報告会	a: 施設実習に関しての知識や技術を身に付けている。 b:実習簿の内容において、考察を深め、自ら新たな目標を設定し、より高度な学習を求めて学びの探究を実践している。 c: 実習を振り返る中で新たな価値を創造し、学びの充実に向けて主体的に学習に取り組む態度を身に付けようとしている。	ワークシート 実習簿 発表資料	ワークシート 実習簿 発表資料	ワークシート 実習簿 発表資料

※令和４年度以降入学生用

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度